

エピジェネティクス実験スタンダード(仮題)

広告掲載のご案内

羊土社

拝啓 貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

弊社ではかねてより「実験医学別冊」として医学・生命科学・創薬研究に必須な実験法のプロトコル書籍や解説書を発行し、好評をいただいています。このたび、最新刊「**エピジェネティクス実験スタンダード(仮題)**」を右記内容にて発行いたします。つきましては、貴社の優秀な機器・試薬・書籍・各種サービス等の広告を、ぜひご掲載いただきたく、お願い申し上げます。

広告掲載料金

掲載面	刷色	スペース	掲載料金
後付 (B5判)	4色	1P	150,000
		ブリード	165,000
	1色	1P	90,000
		1/2P	55,000
記事広告 (4色)		2P	380,000*1

○写真修正・図案・版下・製版等は実費をいただきます。
○価格には消費税を含みません。

*1 掲載料300,000円+編集費80,000円。写真撮影・取材等が伴う場合には実費をいただきます。

【発行元】株式会社 羊土社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-5-1
TEL 03-5282-1211 FAX 03-5282-1212
http://www.yodosha.co.jp/

【広告総代理店】株式会社 エー・イー企画

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-4-4
岩波書店一ツ橋別館4F
TEL 03-3230-2744 (代表) FAX 03-3230-2479
E-mail: adinfo@aeplan.co.jp

発行概要

- 発行日 : 2017年 5月 予定
- 広告申込概要
 - 申込締切日……2017年 4月 4日(火)
 - 原稿締切日……2017年 4月 11日(火)
 - ※日程は変更になる場合がございます
 - ※広告の掲載内容を確認させていただく場合がございます

B5判オフセット印刷
1頁 ……天地 220 mm ×左右 150 mm
1/2頁 ……天地 105 mm ×左右 150 mm
ブリード版 ……天地 257 mm ×左右 182 mm
※裁ち落とし部分 別途 3mm必要

- 記事広告
 - 記事広告は貴社でご用意いただいた執筆原稿を元に編集部にて作製します。お申し込み後、詳しい執筆要項をお送りします。詳細はお問い合わせください。
 - 原稿締切日……2017年 3月 10日(金)

※入稿形式(データの場合): Adobe Illustrator
使用したOSとソフトのバージョンをご明記下さい。
データは必ず**アウトライン化**して下さい

広告掲載申込書

下記の通り、実験医学別冊「**エピジェネティクス実験スタンダード(仮題)**」に広告掲載致します。

貴社名: _____ TEL: _____ FAX: _____

所在地:〒 _____

担当者名: _____ 所属 _____ E-mail: _____

掲載場所: _____ 頁/枚 _____ 掲載料金: _____

支払方法: _____ 支払日: _____

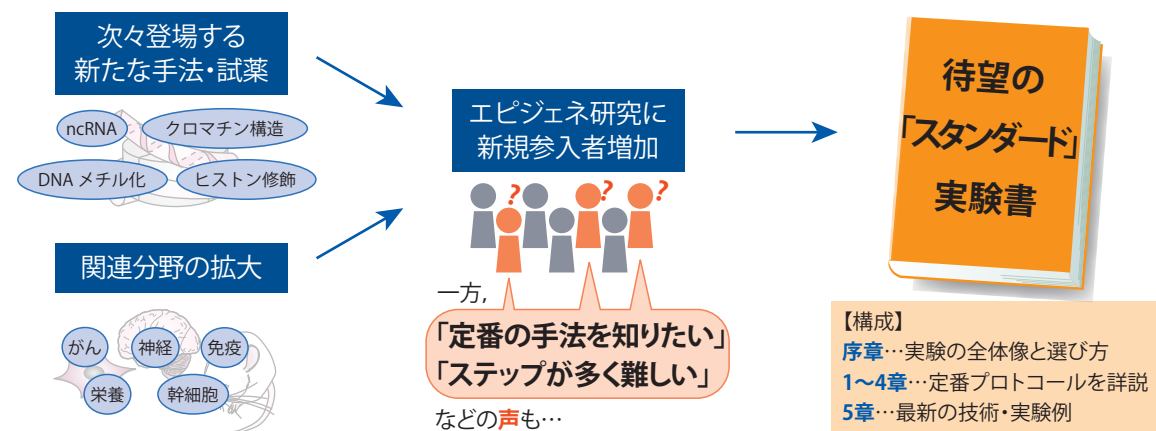
エピジェネティクス 実験スタンダード(仮題)

2017年5月発行予定
B5判、フルカラー、約320頁

編集/牛島俊和(国立がん研究センター研究所), 眞貝洋一(理化学研究所), 塩見春彦(慶應義塾大学)

拡大する

エピジェネ分野待望の**定番**実験書が登場



【構成】
序章…実験の全体像と選び方
1~4章…定番プロトコルを詳説
5章…最新の技術・実験例

★目次の詳細は、裏面をご覧ください

本書に関連する研究技術・キーワード

- ◆パイサルファイト処理 ◆次世代シーケンズ解析 ◆ヒストン修飾抗体 ◆イメージング
- ◆ヌクレオソーム調製 ◆クロマチン免疫沈降法 (ChIP) ◆マイクロアレイ ◆定量PCR
- ◆メチル化・ヒドロキシメチル化解析 ◆ヒストン修飾酵素活性 ◆ncRNA解析 etc...

本書へのご出稿のポイント

- 1 がん, 幹細胞, 免疫, 神経, 栄養をはじめ幅広い分野の研究者が読者です!
 - 2 類書がなく, 実験の導入を考える読者が**最初に手に取る書籍**として期待されます
 - 3 細胞生物学会 (6/13~)など初夏以降の幅広い学会で販売します!
- ➡ 貴社の製品をユーザーに幅広くアピールするチャンスです!ぜひ本書をご活用ください!

序文 牛島俊和、眞貝洋一、塩見春彦

序章 エピジェネティクス解析ナビ

- 1) エピジェネティクス解析の重要性 牛島俊和（国立がん研究センター研究所）
- 2) DNA メチル化解析ナビ 牛島俊和（国立がん研究センター研究所）
- 3) ヒストン化学修飾解析ナビ 眞貝洋一（理化学研究所）
- 4) non-coding RNA による転写制御解析ナビ 塩見春彦（慶應義塾大学医学部）

第1章 DNAメチル化解析

【個別領域の解析】

- 1) バイサルファイトシークエンシング、Target BS 鶴木元香、前之原章司（九州大学生体防御医学研究所）
- 2) メチル化特異的 PCR 法、qMSP、MethyLight、digital MethyLight 竹島秀幸（国立がん研究センター研究所）
- 3) 制限酵素による DNA メチル化検出 鈴木 拓（札幌医科大学大学院医学研究科）
- 4) パイロシークエンス法—複数の CpG メチル化の定量 近藤 豊（名古屋市立大学大学院医学研究科）
- 5) 質量分析機（MassARRAY[®]）による DNA メチル化定量解析 金田篤志（千葉大学大学院医学研究院）
- 6) DNA メチル化酵素の活性測定 末武 勲、田嶋正二（大阪大学蛋白質研究所）
- 7) 5-hmC、5-fmC の解析 山口新平（大阪大学大学院医学系研究科）
- 8) 5-aza-dC 処理（TSA 処理含む） 服部奈緒子（国立がん研究センター研究所）

【網羅的解析】

- 9) Infinium 山下 聡（国立がん研究センター研究所）
- 10) WGBS 三浦史仁、伊藤隆司（九州大学大学院医学研究院）
- 11) MeDIP-Seq、MBD-Seq 永江玄太（東京大学先端科学技術研究センター）

第2章 ヒストン化学修飾解析

【全体像の解析】

- 1) ヒストン修飾抗体を用いたウエスタンブロット解析 立花 誠（徳島大学疾患酵素学研究中心）
- 2) ヒストン修飾のイメージング 木村 宏（東京工業大学大学院生命理工学研究科）

【個別領域の解析】

- 3) クロマチン免疫沈降（ChIP）法 加藤雅紀、眞貝洋一（理化学研究所）

【網羅的解析】

- 4) ChIP-Seq 加藤由起、白髭克彦（東京大学分子細胞生物学研究所）
- 5) データベースの活用 渡辺 亮（京都大学 iPS 細胞研究所）
- 【酵素活性の測定】
- 6) HAT 活性・HDAC 活性測定 伊藤昭博、吉田 稔（理化学研究所）
- 7) ヒストンメチル化活性測定 浦 聖恵（千葉大学理学部生物学科）
- 8) ヒストン脱メチル化活性測定—ウエスタンブロットおよび質量分析法 合田 哲（興和株式会社）
- 9) ヒストンリン酸化・ユビキチン化活性測定 島田 緑、中西 真（東京大学医科学研究所）

第3章 non-coding RNA解析

【長分子 RNA の解析】

- 1) 既知タンパク質に結合する lncRNA の網羅的解析手法：HITS-CLIP、PAR-CLIP、iCLIP、eCLIP、irCLIP 等 石津大嗣（東京大学大学院理学研究科）
- 2) 既知の lncRNA に結合するタンパク質の網羅的解析手法：ChIRP、CHART、RAP 等 小野口真広（慶應義塾大学医学部）
- 3) lncRNA 複合体の細胞内局在と構造解析 中川真一（北海道大学薬学部）
- 4) lncRNA の遺伝学的解析 佐渡 敬（近畿大学農学部）

【小分子 RNA の解析】

- 5) 内源性 siRNA 及び piRNA の網羅的解析手法 岩崎由香（慶應義塾大学医学部）

第4章 核内高次構造解析

- 1) ヌクレオソーム解析（MBNase、DNase、FAIRE-Seq、ATAC-Seq） 脇 裕典（東京大学大学院医学系研究科）、堤 修一（東京大学先端科学技術研究センター）
- 2) 4C・HiC 中尾光善、石原 宏（熊本大学発生病学研究所）

第5章 その他の新技術

- 1) エピゲノム編集 山本 卓、佐久間哲史（広島大学大学院理学研究科）
- 2) シングルセル解析 鹿島幸恵、鈴木 穰（東京大学大学院新領域創成科学研究科）
- 3) クロマチンに結合するタンパク質の網羅的解析：ChEP 等 足立 淳（医薬基盤・健康・栄養研究所）
- 4) 特定クロマチン領域に結合するタンパク質の網羅的解析：PiCh 等 井手 聖（国立遺伝学研究所）
- 5) メチル化酵素の新規標的分子の網羅的解析 島津忠広（理化学研究所）